

## 福岡県の農場で ランピースキン病の発生を確認！

2024年11月6日、福岡県でランピースキン病の発生が確認されました。

本病は、死亡率は高くなく自然治癒しますが、生産性に影響を及ぼします。  
なお、本病は牛の病気であり、人に感染することはありません。

### ランピースキン病（届出伝染病）とは...

- ・病原体：ランピースキン病ウイルス(ポックスウイルス科)
- ・症状：皮膚の結節や水腫、発熱、乳量の低下など

詳細は農水省  
ウェブサイトを  
ご覧ください



写真出典：FAOウェブサイト

[https://www.fao.org/fileadmin/user\\_upload/eufmd/LSD/LSD-002\\_text\\_NO\\_logos\\_\\_2\\_.pdf](https://www.fao.org/fileadmin/user_upload/eufmd/LSD/LSD-002_text_NO_logos__2_.pdf)

- ・伝播：吸血昆虫、飼養器具、血液等を介した感染
- ・2019年以降アジアで発生が拡大。韓国では昨年10-11月に発生が拡大し、今年8月にも発生が確認されています。

### 感染拡大を防止するために...

- ✓ 毎日の健康観察、早期発見、早期通報
- ✓ 害虫の防除(殺虫剤の散布など)
- ✓ 他の畜産関係施設で使用した飼養器具を持ち込まない  
(やむを得ない場合は洗浄、消毒(エタノールなど))

家畜に異状があれば、すぐに家畜保健衛生所へ連絡をお願いします！

飛騨家畜保健衛生所（飛騨総合庁舎内）

〒506-8688 高山市上岡本町7-468 E-mail：c24508@pref.gifu.lg.jp

TEL：0577-33-1111（内線403） FAX：0577-32-9019

※閉庁時には案内メッセージに従って対応をお願いします。

飛騨家畜保健衛生所  
家畜衛生情報は  
こちら⇒

